

「研修会等名称」 KH Coder を利用した計量テキスト分析セミナー

場所：高知大学

期間：2018年12月8日

1. 研修の内容

テキスト計量分析ソフト「KHCoder」の設計思想と使用方法を、開発者である立命館大学の樋口耕一氏が解説するセミナーに参加した。

テキスト計量分析とは、文字資料を単語あるいは文字の出現頻度、出現場所などの統計処理の技法を用いて分析する手法で、原文字資料のデジタル情報公開、パーソナルコンピューターの能力向上に伴って個人レベルで活用されるようになってきている。しかしながらこれまでは英文の処理を主眼とし、なおかつきわめて高価な市販ソフトウェアしか存在しなかったが、樋口耕一氏開発の「KHCoder」は日本語処理を主眼とし、なおかつフリーソフトであって、教育の場での活用が容易になってきた。ところがフリーソフトウェアであるため使用法解説などの書籍も充分には刊行されておらず、実際の使用に当たって困難に当たることもまま存在した。

今回のセミナーでは、実際のデータを個人のPC上で動かしながらの実習を通して KHCoder の使用法をマスターするとともに、運用上の諸問題を個別質問で解決提案する講習会であった。

## 2. 研修の成果

これまで **KHCoder** を使用する中で解決できなかった以下のような諸点を解決できた。

- ・使用説明書で存在すると記されているラジオボタンが見つからず操作に支障を来していたが、PC 画素数の変更によってそれを画面内に出現させることができた。





- ・日本語の前処理ソフトとして **Chasen** が組み入れられているが、一般的な **Mecab** との使い分けについて質問しアドバイスを得た。

- ・中国語対応となっているものの十分な文法分析がなされず当惑していたが、様々な処理アドバイスをもらい、より正確な現代中国語の分析に近づくことができるようになった。

このセミナーで習得した使用法を、卒業論文、修士論文の指導に直ちに活用できた。

## 3. 授業への研修成果の反映状況

このセミナーで習得した使用法を、卒業論文、修士論文の指導に直ちに活用できた。とりわけ小野晃裕の修士論文『『多情剣客無情剣』にみる古龍の武侠精神と小説作法』は **KHCoder** を駆使してなされた論文で有り、提出直前にこのセミナーでの習得成果を指導に反映させることができた意義は大きい。

学 部 長	学習・教育支援センター委員長	学習・教育支援センター委員会	名古屋教務課長	係
				

19.4.25  
井